



# ふなばし 国際交流協会ニュース

<第36号>

2007年7月19日発行

## 今年は協会設立 20周年です



本土寺在住外国人との文化交流 あじさい名所見学 関連記事がP2にあります。

### 目で見る世界の国 第12回 ミャンマー連邦

3大仏教遺跡のひとつといわれるバガンの遺跡群

世界遺産申請中 (<http://www.ancientbagan.com/>より拝借)



ミャンマーの位置



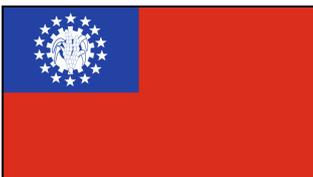
無数の遺跡が立ち並ぶ  
バガンの平原



シュエジゴンパゴダ



アーナンダー寺院



国旗

#### ～ひとこと紹介～

1988年に軍部がクーデターにより政権を掌握し、翌年の1989年には国名をビルマよりミャンマーに改めた。今も軍政が続いている。国境はバングラデシュ、中国、ラオス、タイ、インドと接している。最大都市はヤンゴン。主要輸出品は米、海老、天然ガス。経済は高い成長率で伸びていたが、最近では外貨不足も顕著となっている。2003年5月のスー・チー女史再拘束を受けて米国やEUが経済制裁を課している。日本政府も民主化が見られないと憂慮を表明し、新規経済案件の実施を見合わせ中。

一般に親日的で、明治の頃からの日本人墓地の手入れもよく行き届いている。今、中国が国家的協力を進めている。

『ビルマの豎琴』(竹山道雄著)は敗戦後、僧侶となってビルマに残り、日本兵の霊を慰める一兵士の物語。過去2回、映画化された。

広報委員 小柳

#### ミニ情報

国名	ミャンマー連邦
面積	68万km <sup>2</sup> (日本の1.8倍)
人口	5,322万人(2004年)
民族	ビルマ族(約70%)、 その他多くの少数民族
首都	ネーपीドー
公用語	ミャンマー語
宗教	仏教(90%)、キリスト教、 回教等
通貨	1ドル=5.75チャット (2007年3月平均)

# 平成19年度船橋市国際交流協会総会

5月10日(木)、午後2時より中央公民館で総会が開かれた。

平成18年度の事業報告に続き、協会事業と国際親善ボランティアを一元化する説明があった。

次に、平成19年度の事業計画が承認された。

協会設立20周年を迎え、「外国人とともに安心して

暮らせるまちづくり」というコンセプトが加わった。

主な事業としては、協会設立20周年記念式典およびパーティーの実施、災害時外国人支援ボランティアの養成研修、不就学児童及び生徒の支援、アンデルセン童話マラソン読書会などがある。

広報委員 小山

## 今年度の主な協会事業予定

8月26日	・在住外国人と市総合防災訓練への参加
9月9日	・協会設立20周年記念講演会・懇親会 (船橋グランドホテル)
10月～11月	・「第24回全国都市緑化ふなばしフェア」への協力
10月	・各国の文化紹介
10月18日～ 22日	・市制70周年記念三姉妹・友好都市より代表団及び文化団体来船 20日：第24回全国都市緑化ふなばしフェアへの公演(文化団体) 20日：歓迎パーティー(三井ガーデンホテル船橋ららぽーと)
11月	・「食と文化」探訪(フィリピン)
12月	・文化交流(書道体験と年賀状作り)
1月	・NEW YEAR PARTY開催(フィリピンのお正月)(宮本公民館)

## ボランティアが一元化されて8委員会制に

調査研究委員長 渡辺千代美

当協会は平成19年度より従来の5委員会制より8委員会制に移行することになりました。これは在住外国人支援事業の日本語教室、外国人相談窓口、「ようこそふなばし」の活動をしていた国際親善ボランティア制度を協会事業に統合して一元化したいという希望が

実現されたものです。

8委員会の内訳は以下のとおりです。総務委員会、広報委員会、姉妹都市委員会、交流委員会、調査研究委員会、日本語教室委員会、外国人相談窓口委員会、ようこそふなばし委員会です。

## 在住外国人との文化交流 あじさい名所見学

6月13日、交流委員会の文化交流グループでは、「あじさい祭り」開催中の本土寺(松戸市)を訪れた。

別名「あじさい寺」で有名な本土寺は、色鮮やかな、あじさいが咲き乱れていた。

450mもある参道には、水戸光圀が寄進したと伝えられる松や杉の古木が並んでいた。約3万株のあじさいと、6,000株の花菖蒲が美しかった。

この寺は、日蓮宗三長三本山(長谷山本土寺以外では、池上の長栄山本門寺、鎌倉の長興山妙本寺)に数えられ、文永6年(1269年)に日蓮を招いて一堂を建て、建治3年(1277年)、この地を治めていた陰山土佐守により現在地に移されたそうである。

本土寺は順路がしっかりと整備されており、参道を

抜けると見事な仁王門がる。この日参加した日本・ロシア・中国・韓国・台湾・フィリピンの31人(男性5人、女性26人)で歴史を感じながら散策を楽しんだ。

その後の昼食会では、自己紹介とゲームなども行われ、底抜けに明るく、笑いの連続であった。新任の「文化交流グループ長(金基英)」の挨拶で、グループのメンバーを200人(現、約60人)にすることが目標と、強い意志を示された。

広報委員 中谷



## 《国際交流協会の委員会紹介シリーズ1》

### 委員会はこんな活動をしています

今回は、平成19年度から新設された3委員会を紹介します。(他委員会については、次号から順次、紹介)

### 日本語教室委員会



協会主催の日本語教室は「外国人が地域社会に参加できる程度の日本語の習得を支援する」ことを目的に、中央、二和、東部、薬円台、葛飾、宮本公民館と女性センターで、週1回、2時間ずつ開かれています。

学習者は約20カ国、340人。初歩から中・上級まで「学校からの連絡を正確に知りたい」、「近所の人と井戸端会議をしたい」と意欲は満々です。

学習支援は、協会主催の「養成講座」などを修了し、日本語教室の趣旨に賛同するボランティア約130人が日本語の指導や教室運営などに活動しています。

関心のある方々には、毎年「日本語学習支援ボランティア養成講座」が開かれています。

詳細は事務局にお問い合わせするか、ホームページ [www.fira.jp](http://www.fira.jp) をご覧ください。

広報委員 坂井



### ようこそみなばし委員会

当初は、英語翻訳や通訳などのボランティア活動をする英語グループとして発足しました。1995年4月、英語と中国語、それに、やさしい日本語の3カ国語か

らなる「Yokoso to Funabashi」第1号を発行しました。主なターゲットを来日後間もない在住外国人におき、船橋での生活に早く慣れることができるよう、生活に役立つ情報(生活の仕方・日本の文化や料理の紹介・イベント情報・日本語ミニ知識等)の提供に努めています。



本紙は年4回発行で、市役所・出張所の他、市内の郵便局、公民館、図書館、大学、日本語教室等を通じ配布しています。新しい仲間を求めています。

詳細は⇒ ホームページ

[www.fira.jp](http://www.fira.jp) をご覧下さい。

広報委員 田嶋

### 外国人相談窓口委員会

市在住外国人への支援として平成3年に市が設置。市に登録するボランティアが担ってきました。今年6月からは当協会委員会の形態を取り、従来とほぼ同様の活動をしています。

毎週月・金曜日に市役所114会議室で10時から16時まで開設。原則として、日本語・英語・中国語で対応します。



約20名が4つの班に分かれ、各班は月2回活動します。相談内容は多岐にわたりますが、市の担当課や他機関への橋渡し役となります。日常会話を少し上回る語学力が必要とされます。活動を希望される方は開設日に見学してください。

詳細は⇒ ホームページ

[www.fira.jp](http://www.fira.jp) をご覧下さい。

広報委員 野上



## ズームアップ

ミャンマーの日本大使館に勤めていた時、日本人男性と知り合って結婚し、船橋に住んで5年。日本とミャンマーの架け橋になりたいと活躍されています

市場 金子テイング・ウインさん

「私が高校生だった1989年、軍事政権によるアウン・サン・スー・チーさんの自宅軟禁事件が起きました。学校が休校になり、たまたま、日本大使館で観た記録映画に衝撃を受けました。第2次世界大戦で米国の圧倒的な軍事力に敗れ、壊滅的な打撃を受け東京が焦土と化した内容でした。その日本が目覚ましい復興を遂げ、米国に次ぐ経済大国になっていることに深い感銘を受けたことが、日本語の勉強を始めるきっかけとなりました。そして通訳の資格を取得するまでになりました。大学時代に英語通訳の資格も取りました。ある時、米国人数人を案内しました。その中の1人があまりにも私やミャンマー人に対して横柄で、見下ろすような態度だったので、腹に据えかねて報酬を要しないと断り、自宅に帰ってしまいました。翌日、他の人がお金を持って謝りに来ましたがそれでも受け取りませんでした。お金を払えば、何を言ってもいいと思える態度がどうしても許せなかったからです。卒業後、米国大使館でも募集していましたが、日本大使館員

募集に応募し、幸運にも採用されました。戦後、日本が目覚ましい経済成長を遂げるとともに、東南アジアや他の発展途上国に多大な開発援助をしていることを知り、ますます好きな国になりました。主人とは大使館勤務中に知り合い、結婚しました。来日してからは、日本語学校に通いさらに勉強を重ねました。日本語検定2級の資格を取得し、外国人によるスピーチコンテストに出場し、特別賞を受けるまでに上達しました。今は、ミャンマーのことを良く知ってもらおうと小・中学校に出向き、民族衣装や料理を紹介し、子どもたちに喜んでもらっています。一方で、ミャンマーの人たちにも、着物を通して日本文化の良さを知ってもらおうと、着付け教室に通っています。」

「7月誕生予定の子どもには、両国の文化や伝統を大切にし、弱い人に優しく、そして目上の人を尊敬する心を持ってほしい」と、お腹に、優しく手をそえて話してくれました。

広報委員 石塚



ミャンマー衣装の子ども達と



「つどい」で踊る金子さん



「つどい」スタンプラリーでミャンマーを紹介

## お知らせ

### 協会設立20周年記念パーティー

国際交流協会設立20周年を記念したパーティーと講演会を開催します。

講演会は、協会ホームページで「16冊のパスポート」をシリーズで寄稿してきた協会会員の小柳和郎さんの体験談です。

これまでの協会の歩みや懐かしい人たちとの交流を振り返りながら、皆さんで、協会20周年をお祝いしましょう。

日時：9月9日(日)午後1時30分から

会場：船橋グランドホテル

参加費：3,000円

申込み：電話またはFAXで事務局へ

### 市制70周年記念

#### 姉妹・友好都市市民文化交流事業 ホストファミリー募集!

市制70周年と全国都市緑化ふなばしフェア開催を記念して、ヘイワード、西安、オーデンセから市民文化団体が船橋にやってきます。滞在期間中は、草の根の市民交流としてホームステイを予定しています。ホストファミリーで草の根の国際交流を実感してください。

訪問予定：10月18日から22日※ホームステイは10月19日(金)～22日(月)の3泊4日

受入人数：一家庭2人～3人

受入条件：送迎が可能で、ゲスト用の個室が確保できること

申込み：姉妹・友好都市市民文化交流事業実行委員会事務局(国際交流室内)

電話 047-436-2083

### ボランティア活動・・・はじめませんか??

協会では、今号で紹介した3つの委員会活動のほかにも様々な在住外国人支援などの活動をボランティアによって行っています。

協会全般の運営や企画を行う総務委員会や調査研究委員会、諸外国や在住外国人との交流を中心に活動する姉妹都市委員会や交流委員会、そして協会ニュースを編集発行する広報委員会では、一緒に活動するボランティアを待っています。

### あとがき

かつて、食品企業に勤めていた。先日、偶然にも現役の同僚と出会った。名刺には「お客様相談室」と職場が変更になっていた。日々寄せられる消費者からの、質問、意見などさまざまな「生の声」を受け付ける窓口。軽はずみな対応をすれば、会社全体の信用が傷つく。彼らにとっては緊張の連続する職場である。はたして「生の声」が様変わりする時代が来るのだろうか。今も変わらない話に、勤めていた頃を思いだした。(K.N)